

2017年度 経済学部編入生 ガイダンス資料 <履修上の注意について>

■配布資料

- ・2016（2年次編入）・2015（3年次編入）年度学生便覧
- ・科目認定資料

配布と説明：演習・指導教授・コース・言語文化・一般基礎演習・パソコンの必携について

入学宣誓式	4月3日（月）	ひめぎんホール（県民文化会館）
健康診断	4月6日（木）午前	3年次編入（男子）
	4月6日（木）午後	3年次編入（女子）
	4月7日（金）午前	2年次編入（男子）
	4月7日（金）午後	2年次編入（女子）

■言語文化科目

<英語コース>

英語コースを決めるために、英語クラス分けテストを受験しなければなりません。

試験日：4月1日（土）9：00～12：00 210，212，213番教室

※外国人留学生は別の条件となりますので、詳細は外国人留学生ガイダンスにて確認してください。

<言語文化基礎科目>

言語文化基礎科目の2年次配当科目を履修する場合は、当該言語の1年次配当科目を2単位以上修得していなければ履修できません。

（例）「ドイツ語3」を履修する場合は、「ドイツ語1」・「ドイツ語2」のうち2単位以上を修得していなければならない。

<言語文化応用科目>

1年次に履修した言語から4単位を選択必修としています。ただし、これらの言語文化応用科目を履修するためには、当該言語の言語文化基礎科目を2単位以上修得していなければなりません。

（例）「英語コミュニケーションI」と「ドイツ語ステップアップI」を履修するためには、スタンダードコースの場合、「基礎英語」・「初級英語（発表）」・「初級英語（受容）」のうち2単位以上と「ドイツ語1」・「ドイツ語2」のうちから2単位以上を修得していなければならない。

また、言語文化応用科目の履修を許可された初年度には、前期及び後期において、各学期2単位以上履修しなければなりません。そのため、前期にも後期にも言語文化応用科目を履修する必要があります。

(例) 前期「英語コミュニケーションⅠ」、後期「ドイツ語キャリアアップⅡ」

※前期、後期とも、英語科目だけでも、初習言語科目だけでも構いません。
ただし、1年次に「外国語検定」や「海外語学研修」等の1年次配当の応用科目の単位を修得している場合は、履修しなければならない単位数からその単位数分を差し引くことができます。

(例) 1年次に「外国語検定Ⅰ(2単位)」を修得している場合、2年次の前期又は後期に2単位以上応用科目を履修しなければならない。

■健康文化科目

履修希望者は必ず予備登録期間にWeb予備登録をしてください(身体運動学、スポーツ医学を除く)。同じ科目名の場合はスポーツの種目が違っていても同一科目とみなしますので履修はできません。

※16単位まで卒業単位に算入することができますが、年間で3科目を超えて履修することはできません。

■演習第Ⅰの履修について

【演習履修上の注意】

- 1) 経済学部では「演習第Ⅰ～Ⅲ」と「卒業論文」は必修科目になっています。
- 2) 「演習第Ⅰ」を履修するにあたり、5月12日(金) 17:40から「演習第Ⅰ」履修に関する詳しいガイダンス(教室未定)を行います。3年次編入の方は既にクラスが決まっているため出席は不要です。2年次編入の方はガイダンス・選考に参加してクラスを決めてください。

出席をしない場合、演習第Ⅰを履修できないこともありますので、注意してください。やむを得ない理由により出席できない学生は、必ず事前に教務課経済学部担当まで申し出てください(アルバイト等の理由は不可)。また、5月19日(金)の経済基礎演習の時間において、演習クラスガイダンスを行いますので、掲示や授業内でのアナウンスに注意してください。

演習第Ⅰは2年次で修得しないと、標準修業年限(4年)での卒業に影響が出ることがあります。しっかり取り組んでください。

ちょっと一言!

就職活動時には、面接試験等で必ず「卒業論文」・「演習(ゼミ)」について問われます。「特に力を注いだ学習・研究分野」として、演習(ゼミ)での学習や卒業論文が一定の評価を受ける事は明らかです。将来を見据えてゼミ活動に取り組みましょう。

■事前設定科目

<登録済み科目>

次の必修科目は、2017年度初めて履修する場合と未修得者に事前設定科目として科目及びクラスを事前登録しています。科目・クラス・担当者名を確認しておいてください。

- ① ITスキルズ
- ② 基礎英語、初級英語（発表）（受容）、中級英語（発表）（受容）（外国人は日本語）
- ③ 選択必修の言語文化基礎科目
- ④ 社会経済学入門
- ⑤ ミクロ経済学入門
- ⑥ マクロ経済学入門
- ⑦ 一般基礎演習
- ⑧ 経済基礎演習
- ⑨ 演習第Ⅰ
- ⑩ 演習第Ⅱ ※3年次編入生

編入する年次や単位認定の状況により、事前設定科目は異なります。

■プレコース科目について

経済学科目では、2年次生から履修ができる『プレコース科目』があります。プレコース科目については、予備登録が必要であったり、履修を優先する年次があったりします。今年度履修をしなかったり、修得できなかったりしてしまうと、来年度履修ができない可能性もありますので、注意してください。

■3年次以上配当科目履修不可について

3年次以上配当科目履修不可(通称、『三履不可』)という履修の制限があります。2年次後期終了までに以下の2つの条件を共に満たしていなければ、3年次になっても演習・卒業論文を除く3年次以上配当科目を履修することができません。しっかり履修して、履修制限にかからないよう取り組んでください。

1. 『社会経済学入門』『ミクロ経済学入門』『マクロ経済学入門』から2科目以上修得。
2. プレコース科目(特殊講義は除く)のうち、コースを問わず2科目以上修得。
(経済学部履修規程第7条参照)

■コース振分けについて

3年次からはいずれかの選択したコースに所属します。2年次生は、11月2日（木）17：40からコース振分けガイダンス（教室未定）があります。10月末までには、ガイダンスについて掲示しますので、必ずガイダンスに出席してください。やむを得ない理由により出席できない場合は、事前に教務課経済学部担当まで申し出てください。

各コース定員は原則同数になります。振り分け方法は2年次前期までの成績ポイントにより優先順位がつかます。コース決定のためだけではありませんが、勉学に励んでください。

<総合経済政策コース> <国際経済コース> <地域・環境・文化コース>

※卒業には選択したコース24単位以上、その他のコースよりそれぞれ6単位以上必要であり、今後の履修計画にも影響しますので、学生便覧にてしっかり確認してください。

■演習等の代替手続について

演習等の代替を希望する者は、別紙の「代替届」にて指導教授の承認を得た上で、4月1日（土）17：00までに教務課に提出してください。

■履修全般について

「松山大学オフィシャルサイトー在学生の皆様へー教務課からのお知らせ」に掲載している資料を確認し、遺漏のないようにしてください。特に、次の資料は、新学期を迎えるにあたって重要な資料ですので、熟読の上、手続きを行ってください。

- ① 2017年度新学期に関する諸手続きについて
- ② 2017年4月行事予定表

再度、卒業に必要な単位数、科目数等履修できているか「経済学部細則(学生便覧中)」で確認してください。3年次以上配当科目履修不可の条件を確認し、計画的に履修を進めてください。

履修登録をする前に

窓口取扱時間 授業期間 : 平日8:30～18:00
授業期間外 : 平日8:30～17:00

学内ポータル（学生基本情報）で自分の住所・連絡先を登録してください。なお、保護者の住所・連絡先に変更がある場合は、教務課に申し出てください。

大学からの重要な連絡や書類など送付する際に必要となりますので、変更がある都度更新してください。

また、教務課から着信履歴があった場合は、速やかに連絡または来課してください。

教務課直通番号：089-926-7137（登録しておいてください）